2016 年度 日本学校ソーシャルワーク学会北海道地区研修会

「教諭とスクールソーシャルワーカーの臨床力向上と協働の方法」 ～修復的アプローチの実践的活用～

対 象 小・中・高等学校教諭、養護教諭、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、
その他医療・福祉関係者

日 程 2016年11月27日(日) 9時15分～12時00分 (受付 9時開始)

会 場 北方圏学術情報センター PORTO 5階会議室A

札幌市中央区南1条西22丁目1番1号
地下鉄東西線西18丁目1番出口 徒歩7分

会場には駐車場がございませんので、
公共の交通機関でお越し下さい。

参加費 1,000円(会員・学生500円)

定 員 50名(先着順とさせていただきます) ※申し込みについては裏のページをご覧ください。

趣 旨 北海道においてスクールソーシャルワーカーが学校での支援を開始して10年目を迎え、徐々に教諭や他職種と協働した支援展開の効果が報告され、現在、いじめ防止対策におけるスクールソーシャルワーカーに対する期待が高まっています。このような状況をふまえて、昨年度に引き続き「個人あるいは集団において生じる葛藤・対立を、関係者相互が対話によって平和的に解決する方法」としての『修復的アプローチ』について学びます。特に今年度は、特定のテーマに関する対話によって、人間関係の構築や相互理解を目指す方法である『RJサークル』を実際に体験することによって、明日からの実践に活用できる学びを深めたいと思います。

※修復的アプローチ (Restorative Approaches) とは・・・

刑事司法分野における加害・被害という関係にとどまらず、個人対個人、あるいは個人と集団、さらには集団と集団の間に生じるコンフリクト(対立・紛争)を、利害が対立する当事者間にファシリテーターが介在し、平和的な方法によって関係の修復を図ろうとする理念及び方法。

プログラム

9時00分～	受付
9時15分～ 9時20分	開会挨拶・オリエンテーション
9時35分～12時00分	講義・演習 「修復的アプローチとは」 講師：日本社会事業大学名誉教授 山下英三郎氏

講師紹介 山下英三郎氏

日本社会事業大学大学院特任教授 日本スクールソーシャルワーク協会名誉会長。

1986年から埼玉県所沢市において、わが国で初のスクールソーシャルワーカーとして実践活動を行う。

1987年から2010年までフリースペースの運営に携わる。また、1999年から今日に至るまでモンゴルの児童支援を継続している。

<主な著書>『子どもにえられるためのスクールソーシャルワーク』(学苑社、2016年)、『いじめ・損なわれた関係を築きなおす—修復的対話というアプローチ』(学苑社、2010年)、『新スクールソーシャルワーク論 子どもを中心にすえた理論と実践』(学苑社、2012年)、『修復的アプローチとソーシャルワーク—調和的な関係構築への手がかり』(明石書店、2012年) などスクールソーシャルワーク関係著書多数

後 援 北海道教育委員会、札幌市教育委員会、北海道社会福祉士会、北海道精神保健福祉士協会

申し込み方法

下記に必要事項をご記入のうえ、FAXにて参加をお申し込み下さい。

宛 先： 北海道医療大学 福間研究室 (FAX 番号 0133-23-3242)

申し込み締め切り 11月18日(金)

問い合わせ：北海道医療大学 看護福祉学部 福間 麻紀

Tel 0133-23-1211 (内 3611) / 直通Tel・FAX 0133-23-3242

※お問い合わせは、電話が繋がらない場合はFAXでお願いします。折り返しご連絡させていただきます。

FAX:0133-23-3242 北海道医療大学 福間研究室宛

2016年度日本学校ソーシャルワーク学会北海道地区研修会 参加申込書	
所 属	
氏 名	
電話番号	
メールアドレス	